

県土整備農林水産委員会・県外視察報告

1 調査日

令和5年8月8日（火）～8月10日（木）

2 出席委員等

安達孝彦委員長、鍋嶋慎一郎副委員長、寺口智之委員、川島国委員、山崎宗良委員、宮本光明委員、中川忠昭委員、菅沢裕明委員（その他、執行部が参加）

3 調査の概要

○令和5年8月8日（火）

（1）一般社団法人真庭観光局（真庭バイオマスツアー）

調査項目：林業の取組（CLT工場、バイオマス発電等）について

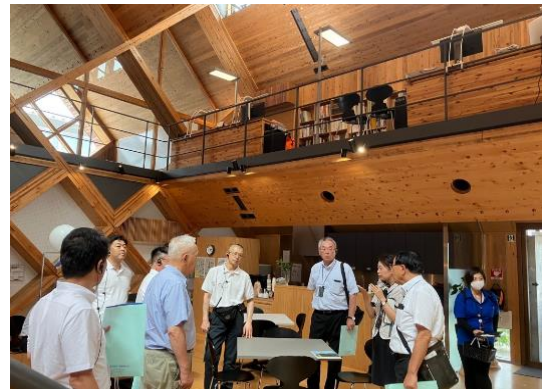
対応者：一般社団法人真庭観光局

①、②銘建工業株式会社

③真庭木材事業協同組合

④真庭バイオマス発電株式会社

内 容：真庭市では、木質バイオマス活用を通じて、林業の活性化や山村再生につなげ、循環型社会の形成を目指している。真庭市内にある①銘建工業株式会社本社事務所、②銘建工業株式会社 CLT 工場、③真庭バイオマス集積基地第二工場、④真庭バイオマス発電株式会社のそれぞれの取組について調査を行った。



【①銘建工業株式会社 本社事業所】



【②銘建工業株式会社 CLT 工場】



【③真庭バイオマス集積基地第二工場】



【④真庭バイオマス発電株式会社】

○令和5年8月9日（水）

（1）株式会社D&Tファーム

視察項目：凍結解凍覚醒法について

応 対 者：株式会社D&Tファーム

内 容：株式会社D&Tファームでは、園芸作物の取組として、「凍結解凍覚醒法」を用いた耐寒性植物の営農向け販売・導入支援・拡販支援を行っており、その取組内容について調査を行った。



【株式会社D&Tファーム】

(2) NPO法人尾道空き家再生プロジェクト

調査項目：空き家対策の取組について

応 対 者：NPO法人空き家再生プロジェクト

内 容： 尾道市の中心部にある尾道駅は、駅から2～3キロ圏内の中心市街地に空き家が増加し、中心市街地の空洞化や少子高齢化が進んでいた。その尾道で2007年に団体を設立し、空き家を再生させる事業を数多く手がけているNPO法人空き家再生プロジェクトにて、空き家対策の取組について調査を行った。

空き家対策の取組の説明のほか、空き家から再生したかつての旅館や現在の法人の事務所、リノベーションしたアパートの現地視察を行った。



【NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト】

○令和5年8月10日（木）

（1）株式会社ハラダファーム本多

視察項目：スマート農業の取組み

応対者：株式会社ハラダファーム本多、

広島県農業経営発展課、農業基盤課

内 容：広島県では、スマート農業の取組を推進するため、「ひろしま seedbox」事業に取り組んでいる。スマート農業技術の導入による収益力を高める経営モデルを確立するため、県が定めたテーマに効果があるアイデアや技術を持つ企業に、スマート農業技術の実証を委託しており、その実証実験に取り組んでいるハラダファーム本多の取組について調査を行った。



【株式会社ハラダファーム本多】